

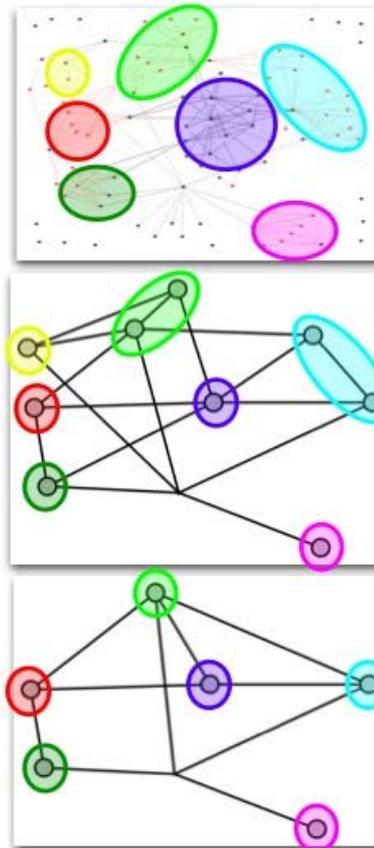
グラフ型情報可視化における構造縮約手法

首都大学東京 システムデザイン研究科 情報通信システム工学専修 博士前期課程2年
首都大学東京 システムデザイン研究科 情報通信システム工学専修 准教授
小瀧 慶介、高間 康史 Webインテリジェンス研究室
E-mail kodaki-keisuke@sd.tmu.ac.jp



<概要>

1. 大規模グラフ構造の閲覧・把握の容易化
2. 段階的な縮約による視認性の向上
3. 完全部分グラフを手がかりとした段階的縮約
4. ネットワーク指標による縮約部分の同定
5. 可視化可能なデータ規模の拡大による幅広い実応用への期待



段階的縮約のイメージ図

- ・上図：縮約前の状態
- ・中図：縮約後の状態
- ・下図：さらに縮約した状態

各図において、色付きの円で囲われた箇所が対応

下図では、中図よりさらに縮約
黄色部は削除、緑部・水色部は単一のノードに統合